

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Test Preparation	Class hours 時間数	5時間/週
----------------------------------	-----------------	---------------------------------	------------------	--------------------	-------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	英検準1級レベルの英語力を身に着ける	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	頻出英文法語法1000(桐原書店) 速読英単語①必修編(Z会) 英検過去問
------------------------------	--------------------	-------------------------------------	--

Unit Description 単元の概要	英検準1級取得：推薦・AOにて英語資格の分水嶺となる準1級。その学習を通して難解な単語と向き合い、いかにそれらを獲得していくかを考える。また長文を構造的にとらえ、選択肢を吟味する理論的思考力を養うと同時に、速読力を高め、実践的な力を付ける。以上のような学習を効率よく継続的に行うのに必要な考え方とは何か、受験生として必要な姿勢を今一度問う。		
---------------------------	--	--	--

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
察	A3	B3 主張と根拠を持った適量の文章を時間内で書くことができる。	<評価方法> ①小テスト(単語テスト、文法・語法テスト) ②過去問題 ③ワークシートの提出 ④ノート提出 <ICT・Creation> ①iTunes U ②Google Form ③Nearpod
好	A2 自身の解答に文法的な根拠が付与できる。知識を基に適切な選択肢を選べる。	B2 語の品詞や特性を理解し、意味の似た単語を使い分けて文章が書ける。身近でないテーマにおいても理論的に分析し、正解にたどり着く。	
知	A1 語彙力と文法の重要性を理解し、日ごろから学習し、習得している。	B1 語の特性や文構造を基に文の意味を理解でき、限られた時間の中で文意を理解できる。	
	C3	C2	
	C1	文の論旨から選択肢を比較検討し、自分の解答に理論的な裏付けができる。	
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Test Preparation	Class hours 時間数	5 時間 / 週
----------------------------------	-----------------	---------------------------------	------------------	--------------------	----------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	問題形式別大学入試実践問題演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	頻出英文法語法1000(桐原書店) 速読英単語①必修編(Z会) 英検過去問
------------------------------	-----------------	-------------------------------------	--

Unit Description 単元の概要	大学入試問題入門：様々なタイプの問題に触れ、自身の得手不得手を認識すると同時に、「受験英語」という英語の一側面について考えを深め、「英語力とは何か」という本質的な問いに迫る。センター試験の長文を中心に取扱い、正解へと至るプロセスについて思考を巡らせる。
---------------------------	--

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
察	A3	B3 主張と根拠を持った適量の文章を時間内で書くことができる。	<評価方法> ①小テスト(単語テスト、文法・語法テスト) ②過去問題 ③ワークシートの提出 ④ノート提出 <ICT・Creation> ①iTunes U ②Google Form ③Nearpod
好	A2 自身の解答に文法的な根拠が付与できる。知識を基に適切な選択肢を選べる。	B2 語の品詞や特性を理解し、意味の似た単語を使い分けて文章が書ける。身近でないテーマにおいても理論的に分析し、正解にたどり着く。	
知	A1 語彙力と文法の重要性を理解し、日ごろから学習し、習得している。	B1 語の特性や文構造を基に文の意味を理解でき、限られた時間の中で文意を理解できる。	
	C3	C2	
	C1	文の論旨から選択肢を比較検討し、自分の解答に理論的な裏付けができる。	
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Test Preparation	Class hours 時間数	5時間/週
2学期 中間試験 Term 2 Midterm					
Name of Unit, Project 単元名	問題形式別大学入試実践問題演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	頻出英文法語法1000(桐原書店) 速読英単語①必修編(Z会) 英検過去問		
Unit Description 単元の概要	私大過去問及び発音アクセント：発音・アクセント、リスニングに力を入れて演習を行う。発音アクセントのルールや法則に気づいて、センター試験の第1問に即応できるようになるとともに、自らのリスニング力向上にもつなげる。一方長文や文法問題では私大の問題を徐々に増やし、センターレベルからのステップアップを図る。				
Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考	
楽	A3 問題形式やレベルが変化しても安定して正答にたどり着ける。	B3 意見、根拠、理由、具体例、結論が盛り込まれた過不足なく文法的ミスの少ないライティングが時間内のできる。	C3	<評価方法> ①小テスト(単語テスト、文法・語法テスト) ②過去問題 ③ワークシートの提出 ④ノート提出 <ICT・Creation> ①iTunes U ②Google Form ③Nearpod	
好	A2 自身の解答に文法的な根拠が付与できる。知識を基に適切な選択肢を選べる。	B2 問題となっている個所を素早く見つけ、選択肢と見比べ吟味したうえで正解を選べる	C2		
知	A1 単語、文法問題の演習を通して得点力を付ける。	B1 長文問題の読解に時間を決めて取り組み、速読を実践する	C1 文の論旨から選択肢を比較検討し、自分の解答に理論的な裏付けができる。		
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking		

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 SEC スタンダード	Subject Area / Class 教科 / 科目	Test Preparation	Class hours 時間数	5時間/週
2学期 期末試験 Term 2 Final					
Name of Unit, Project 単元名	問題形式別大学入試実践問題演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	頻出英文法語法1000(桐原書店) 速読英単語①必修編(Z会) 英検過去問		
Unit Description 単元の概要	本番直前入試演習：本番直前ということで、試験上のテクニックやタイムマネジメントといった実践的な内容にフォーカスし、実践演習を繰り返す。試験中は効率的に得点することに集中し、実施後は振り返りや見直しを徹底的に行って更なる得点向上ができるように努める。難易度の高い問題にも臆せず挑み、時間内に余裕をもって終わらせる力を付ける。				
Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考	
楽	A3 問題形式やレベルが変化しても安定して正答にたどり着ける。	B3 意見、根拠、理由、具体例、結論が盛り込まれた過不足なく文法的ミスの少ないライティングが時間内でできる。	C3	<評価方法> ①小テスト(単語テスト、文法・語法テスト) ②過去問題 ③ワークシートの提出 ④ノート提出 <ICT・Creation> ①iTunes U ②Google Form ③Nearpod	
好	A2 自身の解答に文法的な根拠が付与できる。知識を基に適切な選択肢を選べる。	B2 問題となっている個所を素早く見つけ、選択肢と見比べ吟味したうえで正解を選べる	C2		
知	A1 単語、文法問題の演習を通して得点力を付ける。	B1 長文問題の読解に時間を決めて取り組み、速読を実践する	C1 文の論旨から選択肢を比較検討し、自分の解答に理論的な裏付けができる。		
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking		